

資料

1. 地域・職域連携事業の取組例

平成17年度、平成18年度に地域・職域連携支援検討会構成員による支援を実施した協議会等における取組の一部について掲載するものである。

- (1) 岐阜県岐阜圏域
- (2) 愛知県知多半島圏域
- (3) 島根県及び浜田圏域
- (4) 山口県防府健康福祉センター
- (5) 高知県安芸地区
- (6) 仙台市

(1) 岐阜県岐阜圏域

岐阜保健所における地域・職域等連携推進事業のあゆみ

平成14年度～16年度

<目的>：ヘルスプランぎふ21を推進するため、

- ・岐阜地域の健康課題を中心に、効果的・効率的な活動を普及啓発する。
- ・地域の保健医療資源の有効活用を図り、地域全体の自主的な健康づくり活動を支援する。

	調査等	事業
平成14年度	・50人以上の事業所の健康づくり事業現状調査	・「健康づくり事業推進」シンポジウムの開催
平成15年度	・事業所における健康づくり事業の実態調査と支援希望調査(50人以上) ・「ヘルスプランぎふ21」協力団体の健康づくり事業における支援可能調査 ・特色ある健康づくり実施事業所の資料作成調査 ・健康増進施設調査 ・地域(事業所)における分煙推進状況調査 ・室内の粉塵量測定	・支援希望事業所に対する講師派遣事業 ・健康増進施設マップ作成 ・ヘルスプランぎふ21圏域推進会議にて報告
平成16年度	・小規模事業所における健康づくり事業の実態調査と支援希望調査(50人以下)	・支援希望事業所に対する講師派遣事業 ・健康づくりに関する関係機関・団体の役割確認(圏域推進会議の中での確認) ・各務原市市民の健康意識調査及び健診受診促進支援 ・ヘルスプランぎふ21圏域推進会議にて報告

<課題>

- 職域保健
- ・従業員数が少ない事業所は受診率が低く、市町の基本健診を利用していることがある
 - ・有所見者への事後指導が消極的であったり、事後指導結果が把握されていない。
 - ・保健指導、教育等の出前講座の利用を呼びかけても応募が少ない。
 - ・健診、事後指導、健康教育を各保険別の機関・団体が重複して実施
 - ・従業員へのメンタルの対応方法についての指導を希望している
- 地域保健
- ・事業所を退職すると地域の健診を受ける人が少ない。
 - ・主婦層の健診率が低い(受診機会の少なさと健康と感じている)
 - ・運動を習慣的に行っているのは中高年女性が多く、若い人や男性に少ない。

平成17年度

健康づくり推進検討会を立ち上げ、連携課題を抽出

- ① 職域から地域へ：退職者の継続的な健康管理指導
- ② 地域から職域へ：労働者の被扶養者(主に主婦層)の健康診断の受診促進
- ③ 地域と職域の共通課題：若年からの生活習慣病の予防対策

課題に対応する事業の具体化

- ① 退職者向け健康診断促進パンフレットの作成(岐阜保健所のホームページ)
- ② 事業所従業員(特に若年層)の健康管理システムの検討(実施断念)

平成18年度

<地域・職域連携事業の位置づけの再確認>

- ・岐阜保健所の場合の地域・職域保健連携推進部会として「ヘルスプランぎふ21圏域推進会議」の専門部会として位置づける。
- ・医療制度改革により、健診・事後指導が保険者に義務づけられることより、今後はたばこ対策・メンタル保健等ポピュレーションアプローチ部分での事業を推進することを目指している。

(2) 愛知県知多半島圏域

平成 18 年度 知多半島 2 次医療圏地域・職域連携推進事業

目的：地域保健と職域保健が連携し、効果的な保健事業を労働者に提供するところを目的にこの事業に取り組む。

(半田保健所・美浜支所 知多保健所)

◎は事業企画機関

事業名	飲食店夏期講習会 (受動喫煙防止) (外食栄養成分標示)	飲食店夏期講習会 (受動喫煙防止) (外食栄養成分標示)	税務署職員研修会	知多漁業協同組合婦人部 研修会	歯周病対策普及講演会 (全国労働衛生週間説明 会)
月 日	平成 18 年 6 月 2 日～ 平成 18 年 7 月 6 日	平成 18 年 5 月 30 日 ～6 月 15 日	平成 18 年 6 月 21 日 平成 18 年 6 月 27 日	平成 18 年 7 月 11 日 (火)	平成 18 年 9 月 5 日 (火)
開 催 場 所	半田保健所管内地域公 民館 12 箇所	半田保健所美浜支所管内 各地区公民館等 8 箇所	半田税務署	愛知県漁連海苔流通センタ ー	住吉福祉文化会館 2 階
内 容	・食品衛生について ・たばこの害について ・生活習慣病予防につい て ・食育について ・外食栄養成分表示につ いて	・食品衛生指導 ・効果的な手洗い ・メタボリックシンドローム ・受動喫煙防止認定施設 ・外食栄養成分表示	・たばこの害について ・生活習慣病予防について ・食育について ・外食栄養成分表示につ いて	・たばこの害について ・生活習慣病予防について ・食育について ・外食栄養成分表示につ いて	1 歯周病予防の歯育・食育 について～職場でできる 健康づくり」について 2 労働者の衛生環境の管 理、整備について
評 価	・実施回数 12 回 ・受講者 食品衛生責任者 1,274 名	・支所管内 8 地区 8 回 ・受講者 食品衛生責任者 771 人	・実施回数 2 回 ・受講者 税務署職員 100 名	・実施回数 1 回 ・受講者 知多漁業協同組合の婦人 部 50 名	1 参加者 ・企業関係 151 名、 ・行政関係 11 名 2 過重労働、健康管理等職 場環境についての順守事 項を確認した。
関係 機関	◎半田保健所 ・食品衛生協会	◎半田保健所美浜支所 ・食品衛生協会	◎半田税務署 ・半田保健所	◎知多地区漁協女性部連絡 協議会 ・愛知県漁連海苔流通セン ター ・半田保健所	◎半田労働基準監督署 ・半田保健所 ・半田労働基準協会
課題及 び効果	飲食店関係者の方々に たばこの害並びに生活 習慣病予防大切さ・食育 について情報提供がで き、外食栄養成分表示の 必要性についての確認 ができた。	毎年実施される夏期講習 会において、受動喫煙防止 や栄養成分表示について の啓発を続けている。 (衛生課職員が飲食店指 導時、受動喫煙防止実施施 設認定について数件勧奨 するなど協力があつた。)	税務署職員にたばこの害 並びに生活習慣病予防大 切さ・食育、外食栄養成分 表示について情報提供が できた。	知多地区漁協女性部の役員 の皆さんにたばこの害並び に生活習慣病予防大切さ・ 食育、外食栄養成分表示に ついて情報提供ができた。	1 労働者の健康診査を実 施し、保健衛生・環境を 管理、整備充実すること は、経営者が果たす役割 である。 2 健康づくりを職場・家 庭で展開する必要性を食 育を通じて伝えることが 出来た。
連携シ ステム	講習会 役割 ①半田保健所から食品 衛生協会の実施して いる飲食店夏期講習 会において、たばこの 害並びに生活習慣病 予防大切さ・食育、外 食栄養成分表示の必 要性についての健康 教育実施に向けて依 頼 ②食品衛生協会は、会員 向けに周知及び会場 準備	講習会 役割 ①半田保健所美浜支所か ら食品衛生協会の実施 している飲食店夏期講 習会にて、受動喫煙防止 と外食栄養成分表示に ついて健康教育実施に 向けて依頼 ②食品衛生協会は会員向 けに周知及び会場準備 等	研修会 半田税務署から生活習 慣病予防についての講 義依頼があつた。 役割 ①半田保健所は、半田税務 署からの講義依頼を受 け、依頼内容の趣旨を確 認し、講義内容を決定、 チラシ等の資料を作成 して講義を実施。 ②半田税務署 職員に周知及び会場の 提供	研修会 知多地区漁協女性部連絡 協議会から生活習慣病予 防についての講義依頼が あつた。 役割 ①半田保健所は、知多地区 漁協女性部連絡協議会か らの講義依頼を受け、依 頼内容の趣旨を確認し、 講義内容を決定、チラシ 等の資料を作成して講義 を実施。 ②知多地区漁協女性部連絡 協議会及び愛知県漁連海 苔流通センター、職員に 周知及び会場の提供	研修会 半田保健所・半田労働基準 監督署に双方より意思表 示 役割 ①半田保健所：講師の選 任・予算確保 ②市町：講師への事業通知、 当日の運営 ③半田労働基準監督署：知 多半島事業所への個別通 知・会場選定・予算確保・ 全体の企画当日の運営 ④新聞社への広報活動

事業名	喫煙と歯周病に関する健康教育 (全国労働衛生週間) (受動喫煙防止対策)	知多水産職員会研修会	大府市福祉・健康フェア	知多市健康・福祉フェスティバル (知多市産業まつりと同時開催)
月 日	平成 18 年 10 月 2 日 (月)	平成 18 年 11 月 9 日 (木)	平成 18 年 9 月 24 日 (日)	平成 18 年 10 月 28 日 (土) 29 日 (日)
開 催 場 所	ミツカン酢(株)半田第 2 工場	クラシティー半田 3 階 半田市市民交流センター	大府市保健センター	知多市勤労文化会館
内 容	1 講演「喫煙と歯周病 歯肉を見る目を養おう」 2 喫煙に関するアンケート調 査結果報告 3 2006 年度禁煙成功者表彰 4 2006 年度非喫煙者表彰 5 指差唱和	・たばこの害について ・生活習慣病予防について ・食育について ・外食栄養成分表示について	・生活習慣病アンケート ・すたれすたれーる診断 ・体脂肪測定 ・歯の健康チェック	・生活習慣病アンケート ・すたれすたれーる診断 ・体脂肪測定 ・アルコールパッチテスト・酒害相 談
評 価	1 参加者 ・工場長・業員 120 名 2 労働者の健康管理を喫煙に主 眼をあて、タバコの害をきち んと知る事により健康で快適 な職場を目指した。	・実施回数 1 回 ・受講者 知多地区漁協職員、 水産関係団体関係者等 23 名	生活習慣病アンケート 94 名 すたれすたれーる診断 33 名 体脂肪測定 114 名 歯の健康チェック 38 名	生活習慣病アンケート 159 名 すたれすたれーる診断 225 名 体脂肪測定 179 名 アルコールパッチテスト・酒害相談 353 名 歯の健康チェック 81 名
関係 機 関	◎ミツカン酢半田工場安全衛生 委員会 ・ ミツカン酢半田工場 ・ 半田保健所	◎知多水産職員会 ・ 愛知県漁業協同組合連合会 ・ 半田保健所	◎大府市 ・ 大府市社会福祉協議会 ・ 保健福祉関係機関 ・ 知多保健所	◎知多市 知多郡医師会知多支部、知多市歯 科医師、知多市薬剤師会 健康づくり食生活改善協議会 知多支部知多市会員、知多保健所 管内栄養士会、知多保健所
課 題 及 び 効果	1 事業所内の安全衛生委員会の 活動として展開し、健康意識 を高めることが出来たが、今 後目標である職場における分 煙化対策の動きを高める必要 がある。	知多地区水産関係職員の役員の 皆さんにたばこの害並びに生活 習慣病予防大切さ・食育、外食栄 養成分表示について情報提供が できた。	すべての市民が、地域社会での生 活・健康づくり・福祉活動に安心と 生きがいをもって参加することが できるよう、啓発と体験の 1 つの場 を提供し、健康と福祉に対する意識 の向上及び理解を深めることを目 的に開催。 健康者、障害者子供からお年寄りま ですべての階層を含めた誰でもが 気軽に参加できる地域密着型のイ ベントで参加者は、毎年 9 千人前後 である。	知多市産業まつりは、主催が知多 市、知多市商工会及び J A あいちの 3 者で、知多市産業まつり実行委員 会(知多市経済課が事務局担当)運 営を担当し、知多市健康・福祉フェ スティバルは、7 年前から産業まつ りと同時開催で健康部門の催事と し参加している。 産業まつりは、近隣市町の方で 2 日間、延べ 9 万人の参加者の集客力 があるイベントで、同時開催で健康 部門のイベントである健康・福祉フェ スティバルを開催することは多 くの参加者が得られる。
連 携 シ ス テ ム	講習会 全国労働衛生週間における事 業所従業員の安全衛生普及の一 貫として実施、半田保健所 が講師として参加協力する。 役割 ①事業所(ミツカン酢) ・ 従業員を対象とした、喫煙 に関するアンケート実施、回 収、まとめ作成 ・ 喫煙成功者表彰(1 年 6 か 月禁煙出来た者の選出) ・ 非喫煙者表彰対象者の選出 ・ 全体の企画当日の運営 ②半田保健所 ・ 喫煙と歯周病についての講 演内容作成 ・ 受動喫煙防止対策実施施設認 定制度紹介、働きかけ	研修会 知多水産職員会から生活習慣 病予防についての講義依頼が あった。 役割 ①半田保健所は、知多水産職員会 からの講義依頼を受け、依頼内 容の趣旨を確認し、講義内容を 決定、チラシ等の資料を作成し て講義を実施。 ②知多水産職員会及び愛知県漁 業協同組合連合会:職員に周知 及び会場の準備	① 主催は、福祉・健康フェア実行 委員会で大府市、大府市社会福 祉協議会は、共催で事務局も兼 ね、知多保健所を始め大府市内 にある 44 団体が参加。大府市 の広報紙にフェアの告知の記 事を掲載各戸配布 役割 ・ 参加団体は、展示、実践体験、相 談、募金及び即売とそれぞれの団 体毎の催事内容で参加し、団体間 の調整は、実行委員会で行って いる。 ・ 知多保健所としては、生活習慣病 予防アンケート、健康日本 21 あ いち計画の P R、ストレスチェ ック及び体脂肪測定等測定機器利 用体験コーナーを設置しイベ ントに参加した。	② 健康・福祉フェスティバルは、 知多市保健センターが事務局 として毎年、参加団体出席の会 議でテーマを決め、催事内容の 調整を行っている。 知多市の広報紙に併せて産 業まつりの開催プログラム各 戸配布(フェスティバルの案内 も同時掲載) 役割 ・ 参加団体は、3 師会を始め保健 衛生関係団体であるので、必ず 催事内容の調整は、必須条件で ある。 ・ 知多保健所としては、生活習慣病 予防アンケート、健康日本 21 あ いち計画の P R、ストレスチェ ック及び体脂肪測定等測定機器利 用の体験コーナーを設置しイベ ントに参加した。

事業名	歯周病対策ネットワーク 推進研修会	職員研修	生活習慣病予防講習会	各種検診に関する講演会
月 日	平成 18 年 11 月 2 日 (木)	平成 18 年 6 月 29 日 (木)	平成 18 年 11 月 7 日 (火)	平成 19 年 1 月 17 日 (水)
開 催 場 所	東海商工会議所	愛知用水水道南部事務所	知多営農センター	東海商工会議所
内 容	講演 「職場の歯周病過労歯対策」 「増え続ける生活習慣病とその 予備軍」	講義 ・職場のメンタルヘルスについて ・疲労蓄積度自己診断 グループワーク	・講演 ・生活習慣病アンケート ・体脂肪測定 ・歯の健康チェック ・血液さらさらチェック ・脳年齢計	講 演 「早期発見！進行してからでは 間に合わないがん・生活習慣病 の健診について」
評 価	参加者 東海市内の商工業者及びその 従業員 14 名	参加者 職員 25 名	生活習慣病アンケート 50 名 体脂肪測定 50 名 歯の健康チェック 50 名 血液さらさらチェック 50 名 脳年齢計 50 名	参加者 東海市内の商工業者及びその 従業員 18 名
関係 機関	◎知多保健所 ・東海商工会議所	◎愛知用水水道南部事務所 ・知多保健所	◎JA あいち知多農業組合 ・知多保健所	◎東海商工会議所 ・知多保健所
課題及 び効果	参加者のアンケートにより「よく 理解できた」が 57%、「だいたい 理解できた」が 43%であった。 また、「興味を持ってたところ があった」が 79%と好評であり、 家族や社員にも伝えたいとの コメントもみられた。参加者 が少なかったため、次年度は、 対象者や開催場所・時間等を検 討する。	メンタルヘルスの講義の他スト レスチェック診断、グループワ ークを通して受講者参加型の内 容で実施。	テレビや雑誌等で注目されてい る検査機器を使用した健康チェ ックを行うことで生活習慣病へ の関心を高めることが出来た。	年 1 回実施している生活習慣病・ がん検査の目的とメタボリック シンドローム予防対策について 講演している。 最近注目されている脳ドック及 び MRI 検査等の最新情報を提供 した。
連携シ ステム	研修会 役割 ①知多保健所：講演内容・企画 当日の実施 アンケートの集計 ②東海商工会議所：商工会会員 に周知、参加者の取りまとめ	研修会 愛知用水水道南部事務所から 職場研修の講師依頼 役割 ①愛知用水水道南部事務所：参加 者の取りまとめ ②知多保健所：講演内容の企画、 資料作成、講師	講習会 JA あいち知多農業組合から講 師及び健康チェック依頼 役割 ①JA あいち知多農業組合 会員への周知 参加者の取りまとめ ②知多保健所：講演内容の企画、 資料作成、講師 生活習慣病アンケート、 体脂肪測定及び歯の健康チェ ックの実施	講演会 東海商工会議所から講師依頼 役割 ①知多保健所：講演内容の企画 資料作成、講師 ②東海商工会議所：商工会会員に 周知、参加者の取りまとめ

平成 18 年度 知多半島 2 次医療圏地域・職域連携推進事業

目的：地域保健と職域保健が連携し、効果的な保健事業を労働者に提供するとを目的にこの事業に取り組む。(共同実施事業)

◎は事業企画機関

事業名	外国人研修・技能実習制度における健康教育		
月 日	平成 17 年度から準備し、平成 18 年 2 月 1 日から実施している。	平成 18 年 9 月 7 日・11 月 6 日 平成 19 年 2 月 5 日	平成 18 年 9 月 7 日 平成 18 年 11 月 13 日
開 催 場 所	師崎商工会館 2 階会議室	師崎商工会館 2 階会議室	南知多町師崎商工会
内 容	外国人研修制度は諸外国の青壮年労働者を日本に受け入れ、概ね 1 年以内の期間に日本の産業、職業上の技術・技能・知識の修得を支援することを内容としており、日中友好の一環である。 地域で生活するための基礎知識として、市、保健所、消防署等に健康教育を依頼した。	商工会が実施する外国人研修の一部を依頼され、中国人を対象に日本における生活教育を実施 <内容> ・ 簡易健康チェック (身長・体重・BMI・体脂肪・血圧) ・ 病気になったら (病院のかかりかた等) ・ メタボリックシンドロームと健康管理について ・ 食生活について ・ 歯の健康について (染め出しとブラッシング) ・ 地域で気持ちよく暮らすために (ごみの出し方、資源ごみについて)	食品衛生指導 効果的な手洗い 感染症予防教育 (結核等)
評 価	18 歳から 35 歳ぐらいの中国人受講生	参加者 9 月 7 日 35 人 (男 11 人、女 23 人) 11 月 6 日 24 人 (男 10 人、女 14 人) 2 月 5 日 30 人 (男 13 人、女 17 人) (予定)	参加者 9 月 7 日 35 人 11 月 13 日 22 人
関係 機関	◎師崎商工会 半田保健所美浜支所 南知多町商工観光課 南知多町保健介護課 南知多町福祉環境課	◎師崎商工会 半田保健所美浜支所 南知多町商工観光課 南知多町保健介護課 南知多町福祉環境課	◎師崎商工会 南知多町保健介護課 半田保健所美浜支所 南知多町商工観光課 南知多町福祉環境課
課題及 び効果		食品の取り扱い、その他日本での生活習慣の違いなどもあわせて研修に取り入れた。 研修の目的は、「日本の生活衛生事を把握し生活衛生事故等の防止に努める」である。 通訳も一人いての講義のため話は通じていることを実感できる。理解していればすぐ反応がかえってくるので評価もし易い。 日本に 3 年在住するため研修期間でどのような内容が必要か検討を要する。 研修後のアンケートにより、講義の内容を取り入れたという人もあった。	南知多町師崎商工会が、中国人研修生の受け入れ事業を行っており、師崎商工会からの依頼で、管内で就労予定の中国人に対する健康教育を実施することができた。
連携シ ステム	研修会 行政機関と連携をすることにより、地域で生活する基礎知識を得ることができ、研修生が安心して生活できる。 役割 ① 師崎商工会：研修企画、運営 ② 南知多町：研修内容企画、講師 ③ 半田保健所美浜支所：研修内容企画、講師	健康教育 町としての窓口は商工観光課で師崎商工会より依頼を受け、保健介護課と福祉環境課で研修の配分を行っている。 役割 ① 師崎商工会：研修企画、運営 ② 南知多町：研修内容企画、講師	健康教育 平成 17 年度から年 2～3 回師崎商工会からの依頼を受けている。 中国人研修生への教育は、1 ヶ月間に亘り、町担当者や警察、消防組合担当者等も担当しているが、個々への依頼である。 役割 ① 師崎商工会：研修会企画、講師依頼 当日の全体運営 ② 半田保健所：健康教育準備及び講師

事業名	メンタルヘルス講演会（常滑）		メンタルヘルスセミナー（半田）	
月 日	平成 18 年 11 月 16 日	平成 18 年 11 月 16 日（木）	平成 19 年 2 月 14 日	平成 19 年 2 月 14 日
開催場 所	常滑商工会議所	常滑商工会議所	半田商工会議所	半田商工会議所
内 容	講演 「自殺予防とうつ病対策」 ー地域と職場で心の健康を 考えるー 講師：西知多こころのクリニッ ク 竹内秀隆先生	講 演 「自殺予防とうつ病対策」 ー地域と職場で心の健康を考 えるー 講師：西知多こころのクリニック 竹内秀隆先生	講 演 「部下のこころの不調に気づくポ イント」 「事例をとおして理解を深めま す」 講師：ファイザー（株）産業医永 田智久先生	講 演 「部下のこころの不調に気づくポ イント」 「事例をとおして理解を深めま す」 講師：ファイザー（株）産業医永 田智久先生
評 価	参加者 常滑市内の商工業者及びそ の従業員 44 名	参加者 常滑市内の商工業者及びその 従業員 44 名	参加者 半田商工会議所、阿久比町、武 豊町商工会の会員 56 名	参加者 半田商工会議所、阿久比町、武 豊町商工会の会員 56 名
関係 機関	◎常滑商工会議所 愛知県精神保健福祉センタ ー 常滑市保健センター 知多保健所 半田保健所	◎常滑商工会議所 知多保健所、 常滑市保健センター 愛知県精神保健センター 半田保健所	◎ 半田商工会議所 阿久比商工会 武豊商工会 愛知県精神保健福祉センター 半田保健所	◎ 半田商工会議所 阿久比商工会 武豊商工会 愛知県精神保健福祉センター 半田保健所
課 題 及 び効果	商工会議所がこの研修会を 自主的に企画したので、参加者 も目的にあった人たちが参加 していた。 愛知県精神保健福祉センタ ーと始めて連携事業を実施し た。今後、働く人の心の問題は 大きいので、連携を構築してい きたい。	地域及び職域での対応が急がれ ているうつ病等のメンタルヘル ス対策を参加者が同じ視点で理 解することができた。	商工会議所が実施しているコー チング事業としてこの研修会を企 画したので、参加者も目的にあっ た人たちが参加していた。 講師についても地域・職域にワ ーキングメンバーの産業医の先生 にお願いしたので、内容としても 非常に効果的であった。	今回、商工会議所が主体的に研修 会の内容を企画した。保健所とし ては研修会の内容の助言をさせて いただいたが、商工会議所が主体的 にこの事業に取り組んでいただけ たことが非常に効果てきであっ た。
連 携 シ ステム	講習会 ① 常滑商工会議所：企画、参 加者への周知、講師依頼、 当日全体の準備、 ② 愛知県精神保健福祉センタ ー：講師依頼、講師報償費、 当日の実施 ③ 知多保健所：当日の実施	講演会 役割 ①常滑商工会議：講演内容・講師 等の企画、商工会会員に周知、 参加者の取りまとめ、当日の運 営 ②愛知県精神保健センター：講演 内容・講師等の企画、講師報償 費、当日の運営 ③知多保健所 当日の運営	講演会 役割 ①半田商工会議所：講師等の企画、 商工会会員に周知、参加者の取 りまとめ、当日の運営 ②愛知県精神保健センター：講演 内容・講師等の企画、講師報償 費、当日の運営 ③半田保健所 講演内容及び講師等の企画の 助言、研修会の広報、当日の運 営	講演会 役割 ①半田商工会議所：講師等の企画、 商工会会員に周知、参加者の取 りまとめ、当日の運営 ②愛知県精神保健センター：講演 内容・講師等の企画、講師報償 費、当日の運営 ③半田保健所 講演内容及び講師等の企画の 助言、研修会の広報、当日の運 営

平成 18 年度 知多半島 2 次医療圏地域・職域連携推進事業

目的：地域保健と職域保健が連携し、効果的な保健事業を労働者に提供するとを目的にこの事業に取り組む。(市町村)

◎は事業企画機関

事業名	半田市健康フェア	健康川柳募集事業	ハッピーライフセミナー	東海市・3 健保組合懇談会
月 日	9 月 2 4 日 (日)	平成 18 年 6 月 1 日～ 平成 18 年 6 月 30 日	平成 1 8 年 6 月 1 6 日 (金)	平成 1 8 年 7 月 2 5 日 (火)
開 催 場 所	さくら小学校	常滑市保健センター等	グリーンホテル三ヶ根	愛知製鋼(株)体育館 (アスカム) 1 階会議室
内 容	血液サラサラチェック 健康相談 歯科検診、フッ素塗布 よくわかる薬の話 骨密度測定	市内在住、在学、在勤者を対象に生活習慣の改善について一人一人の理解を深め、その健康づくりの実践をうながすため「健康」をテーマに川柳を募集	愛知製鋼(株)に勤務している 5 5 歳のご夫婦を対象に退職後の人生設計を計画してもらうために、企業及び労働組合が主催で「ハッピーライフセミナー」を開催市として「健康的な食生活」という題名だったが、市の概要・死亡統計・市で行っている保健事業の紹介・メタボリックシンドロームについて講義を行った。	生活習慣病に対する保険(健)事業 健康診断・フォローの取り組み 東海市及び 3 健保組合で意見交換
評 価	参加者 2, 2 0 0 人	応募者数 小学生 420 人 中学生 821 人 一般 190 人 (INAX の社員等)	4 5 名の参加	市 2 人、3 健保 1 人ずつ
関係 機関	◎半田市 半田保健所 半田市医師会 半田歯科医師会 半田市医師会健康管理センター 始め 2 3 団体	◎常滑市 教育委員会 事業所 老人クラブ	◎東海市 愛知製鋼(株) 愛知製鋼健康保険組合 愛知製鋼労働組合 愛知製鋼企業年金基金	◎東海市 新日本製鐵健康保険組合名古屋支部 大同特殊鋼健康保険組合 愛知製鋼健康保険組合
課 題 及 び 効 果	・リピーターは多いものの、新規参加者も増えつつある ・住民の健康への関心を高めるため、およびきっかけづくりとなっている。	・健康づくりの動機づけにはなかったのではと思うが、健康づくりの実践に結びつけることが必要。	(課題) ・市として市内の企業と連携を取って実施していく必要がある。 (効果) ・定年前にセミナーを実施することにより、定年後の生活が少しはイメージができ、今後の人生設計ひいては健康づくりに役立つ。	(課題) ・今後健康診査をどのように整合性をもたせて行っていくのか。 ・健診データをどのように連携していくのか。また活用していくのか。 (効果) ・市の事業内容及び 3 健保の事業内容を報告することにより、お互いに何を行っているかが、明確になった。
連携シ ステム	イベント 主管：半田市健康フェア実行委員会 年 4 回程度の実行委員会を開催し、打合せ、終了後の報告、次年度の日程、会場決め等を話し合っている。実行委員長は半田市のボランティア団体である半田市民健康増進事業推進連絡会会長としている。 役割 参加団体は、事前にポスター掲示、チラシ配布等で PR。それぞれの催事内容に基づき、前日、当日に準備を実施して当日に臨む。団体間の調整は実行委員会および保健センター職員にて実施。	21 推進連絡会 ・商工会議所、INAX 学校保健会、常滑北高等学校、健康づくり食生活改善協議会、知多保健所、行政で募集。 ・選考も「21 推進連絡会」で実施。	セミナー 企業から市へ健康管理が移管されることによるデータ等の連携。 継続的に健康管理を行っていくためのシステムの構築。	懇談会 今後定期的に意見交換を行っていく、連携システムを構築していく。

(3) 島根県及び浜田圏域

【島根県地域・職域連携健康づくり推進協議会】

1. 設置概要

- 1) 設置期日 平成 17 年 6 月 24 日
- 2) 位置づけ 健康増進計画における壮年期保健対策の推進母体とし、地域と職域の連携により継続的な健康管理支援体制の整備を協議・推進する場とする。
- 3) 構 成 員
 - ・ 関係機関………医師会、歯科医師会、労働局、看護協会、栄養士会
 - ・ 雇用の立場………県商工会議所連合会、県商工会連合会
 - ・ 保健事業実施機関…国保連合会、健保連合会、社会保険事務局、社会保険健康づくり事業財団、島根産業保健推進センター、松江地域産業保健センター
 - ・ 健診機関………島根県環境保健公社、島根県厚生農業協同組合連合会
 - ・ 本庁労働担当部局…労働政策課（労働担当部局）、障害者福祉課（メンタル担当部局）
 - ・ その他………協議に必要性が生じた場合、関係機関に参加依頼
- 4) 事 務 局 県健康福祉健康推進課 健康増進グループ（地域・職域連携事業担当）
保健医療グループ（保険者協議会担当）
- 5) 開催回数 年 2 回…協議内容により、ワーキング会議を設置しワーキング会議を開催

2. 県及び二次医療圏協議会（圏域協議会）の運営における工夫点

1) 設置 1 年目

- ①圏域協議会が先行して設置運営していることから、県協議会設置時に、圏域協議会の開催状況及び圏域課題等を報告し、県協議会の協議内容につなげた。
- ②県協議会と二次医療圏と連動性を持たせるために、圏域協議会をオブザーバー参加とした。
- ③保険者協議会の動きについて情報提供するとともに、それを踏まえた地域・職域連携推進協議会の役割・機能確認し、両協議会の連携を図る必要性の理解につなげた。
- ④社会資源の共有化を図り、関係機関との連携が円滑に行えるよう、情報収集・情報集約・情報提供等について出来るだけ速やかに入れる努力をした。
- ⑤連携事業としての事業企画は、事務局案提示方式でなくワーキング会議での検討を重視した。

2) 設置 2 年目

- ①平成 20 年度からの特定健診・保健指導に係わる連携事業も踏まえ、構成委員に看護協会、栄養士会、健診団体を追加した。
- ②保険者協議会の連携を意識し、事務局を担う国保連合会から、保険者協議会の事業計画等の紹介を行う場を持つこととした。
- ③連携事業については、保険者協議会、地域・職域連携推進協議会と重複する構成員からもワーキング委員として参加し具体的連携事業の検討を行った。

3) 予算確保の工夫

全国一位の高齢県であれば、①元気な高齢者づくりが必要であること、②その目的とする健康長寿日本一を目指した健康増進計画を推進していくことが効果的であること、③そのためには壮年期におけるイ) 脳卒中発症・再発予防、ロ) 高血圧予防、ハ) 糖尿病予防、ニ) がん予防、ホ) 自殺予防を積極的に実施していくこと等が、島根県にとって一番大切であることをデータで説明し確保している。健康増進計画推進事業、生活習慣病予防対策事業として位置づけている。

3. 連携事業の具体的内容と実施における工夫点

1) 設置 1 年目

- ①全県単位で実施することが効果的で、地域・職域の共通課題の解決につながる連携事業を企

画提案した。(県内事業所の健康づくり実態調査、共通支援媒体の作成)

- ②連携事業の企画・分析・活用等については、ワーキング会議を設置し具体的検討を行い、構成員に主体的に係わってもらう努力を行った。

2) 設置2年目

- ①地域・職域を取りまく情勢報告(健診・保健指導のあり方、保険者協議会の動き等)を行い、関係者の共通認識を図る努力をした。
- ②平成20年度に向けて各医療保険者及び従事者が、島根県の地域特性を考慮した効果的な健診・保健指導を円滑に推進できる事業企画を協議会の役割の一つとして確認した。
(連携事業として、島根県としての指針・マニュアル作成事業)

3) 具体的な連携事業について

- ①事業所健康づくり調査の実施(県協議会実施)・・・ワーキングで内容・方法・分析の検討
- ②健康づくり情報、糖尿病管理指針等の媒体資料作成(県協議会)・・・ワーキングで検討作成
- ③産業保健推進センター共同研修(全ての各圏域協議会で実施)・・・事前検討会開催
- ④各圏域特性に応じた連携事業(各圏域で教育媒体づくり、マップづくり、研修会開催等)
- ⑤効果的な特定健診・保健指導への支援事業(県協議会)
 - 県版指針・マニュアルの作成・・・保険者協議会と連携、ワーキング設置で検討
 - 人材育成としての研修会開催・・・保険者協議会と連携により開催

4. 県協議会と二次医療圏協議会(圏域協議会)との連携

- 1) 県協議会終了後は議事録を構成員及び圏域事務局に情報提供し、共通認識を図ることを実施。
- 2) 県協議会に各圏域協議会の事務局をオブザーバー参加させ、連動性を持たせることを実施。
- 3) 全県に波及させたが効果的と考えられる圏域協議会の連携事業について、県協議会の場で事務局から報告・情報提供を実施。
- 4) 各圏域協議会の実施計画・報告を取りまとめ、県協議会及び圏域協議会に情報提供を実施。

5. 保険者協議会との連携

- 1) 両協議会に関与する県担当者が各協議会に同席し、相互理解・共通認識が図られるよう努力。
- 2) 保険者協議会の状況について、県協議会の構成員で保険者協議会の事務局である国保連合会に報告を依頼し、相互理解・共通認識が図られるように努力。
- 3) 協議会の共通課題に対する事業について、連携事業として共同実施。

6. 地域・職域連携事業の評価 ～現段階で実施している事項

- 1) 連携事業で作成した媒体等については、活用状況を把握し分析していくこととしている。
- 2) 連携事業で実施した研修会等については、参加者アンケートを取り内容分析を行っている。
- 3) 第2回協議会(年度末開催)において、実施状況の確認と課題整理により評価を行っている。

7. 地域・職域連携の課題と今後に向けて

- 1) 保険者協議会の役割及び連携方法について継続した検討が必要(20年への体制整備の検討)
- 2) 零細事業所への健康づくり支援の検討(関係機関が連携した事業企画、人材活用)
- 3) 総合的な生活習慣病対策の実施への検討(ヘルスプロモーションの推進、健康なまちづくり)

【島根県浜田地域・職域連携推進協議会】

1. 浜田地域・職域連携推進協議会設立までの経過

〈H14 地域特別対策事業の実施〉

★浜田圏域は、窯業・土木建築業・水産加工等の小規模事業所が多い。

小規模事業所の健診受診等の実態把握、健康づくり活動の取組についてヒアリングを実施する。

(課題) 1. 事業所として健診指導の制度・サービスについて周知が不十分である。

2. 関係機関の連携や役割分担について不明確である。

(方策) 1. 浜田地域・職域連携推進協議会の設立。

2. 「事業所の健康づくりのための情報マップ」の作成。

3. 事業所の健康づくり活動優良事業所表彰と研修会の開催。

(浜田地域・職域連携推進協議会構成団体)

○健康づくり活動に熱心な事業所 (石成道路・川村工務店)

○管内各市商工会議所 (2か所)、各自治区商工会 (6か所)

島根県商工会連合会石見支所

○各組織団体 (島根県建築業協会浜田支部、浜田中央水産加工業組合)

○島根県医師会産業保健医部会、島根県歯科医師会地域保健部

○健診委託機関 (島根県環境保健公社浜田支部、島根県成人病予防センター、社会保険健康事業財団島根県支部)

○浜田地域産業保健センター

○浜田労働基準監督署

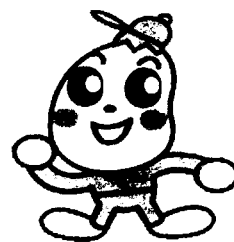
○島根県社会保険事務所

○島根西部勤労者共済会

○浜田社会保険健康センター

○管内各市保健担当課 (産業保健部会担当者)

計 26 機関



2. 浜田地域・職域連携推進協議会の活動状況

〈平成14年度～16年度〉

1. 浜田地域・職域連携推進協議会の開催 (26構成団体、年1回の開催)

2. 「事業所の健康づくりのための情報マップ」の作成・更新

・健診・事後指導の情報提供や健康づくりの支援制度の紹介。

3. 事業所の健康づくり活動優良事業所表彰と研修会の開催

・健康づくり活動に熱心な小規模事業所を表彰+健康づくりに関する研修と情報提供を行い、健康づくりの機運を高める。

〈平成17年度〉

1. 浜田地域・職域連携推進協議会の開催 (年2回の開催)

・具体的にはワーキング会議で協議し、活動の柱等の整理、媒体教材の作成

2. 事業所の健康づくり活動優良事業所表彰と研修会の開催

・平成17年度から、浜田労働基準監督署・浜田地域産業保健センター・浜田保健所の3機関が共催で実施

3. 浜田圏域職場の健康づくり実態調査の実施。

・平成14年度と比較可能に実施し、報告書・リーフレット「健康が一番!」を作成

(課題) 1. 20歳代、30歳代男性の健康管理、食生活に関する意識が低い。

(精密検査未受診、缶コーヒー摂取の増加等)

2. 男女全体でストレスを感じている人が増えている。
3. 男性全体の2割が「相談相手がいない」と答えている。

(対策)：浜田圏域の健康課題の改善につながる取組を強化しよう！

- 柱1 「健診（精密検査）・保健指導を受けやすい環境づくりの推進」
 - 2 「心身の健康に関する情報提供の充実」
 - 3 「生活改善等の動機付け支援の充実」
 - 4 「保健指導の内容・教材の活用」

〈平成18年度〉

平均寿命、平均自立期間の延伸を目指し、働き盛りの年代から、生活習慣病予防・介護予防を意識した取組を展開する。特に脳卒中発症予防のために、メタボリックシンドロームの概念や、高血圧等の適正管理、食生活改善、運動の推奨についてアプローチする。また、自殺予防対策としてメンタルヘルスに関する正しい知識の普及を行う。

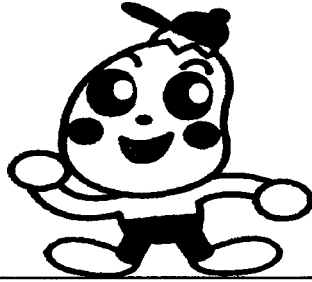
- 1 浜田圏域地域・職域連携推進協議会の開催（年2回）
 - ①関係機関の役割を明確にするため、行動計画策定を検討する。
 - ②個人が健康情報を経年的にファイル管理する活動を普及する事柄について検討する。
- 2 浜田圏域壮年期保健対策検討会の開催（年1回）
 - ①浜田圏域の健診結果や健康課題に関する検討を行い、共通認識する。
 - ②脳卒中発症予防のために、メタボリックシンドロームの概念や、高血圧等の適正管理、食生活改善、運動の推奨について効果的にアプローチできる手法等を検討する。
- 3 職場の健康づくり講演会の開催（11月30日開催）
 - ①事業所の健康づくり活動優良事業所表彰
 - ②講演「職場のメンタルヘルス」 講師 管内精神科病院医師 他
- 4 市町村支援
 - ①浜田健康寿命延伸プロジェクトへの参画
 - ②江津市職域保健部会への参画
- 5 関係機関・団体支援
 - ①事業所出張講座(メンタルヘルス等)の実施
 - ②健康づくりアドバイザー派遣事業の実施
 - ③健康機器の貸出 等

〈浜田地域・職域連携推進協議会を実施した評価〉

1. 取り組んで良くなったこと
 - ①浜田圏域の健康課題を共通認識できた。
 - ②地域保健・産業保健関係者の構成団体により、各団体の事業や情報の共有ができた。
 - ③具体的な取組（例：まめなくんファイル作成）については、実務者でワーキング会議を開催し、協議できるようになった。
 - ④共通して活用できる教材が作成できた。（情報マップ、パンフレット）
 - ⑤優良事業所が年々増加。管内各市の産業保健部会の構成員として役割を發揮されている。
2. 今後の課題
 - ①浜田圏域の健康課題の改善につながっていない。具体的に日常生活で取り組めることを提示していくことが必要である。
 - ②構成団体が、自主的に活動できるような役割分担を明確にする必要がある。
 - ・平成20年度の特健健診、保健指導に関する準備を進めることが必要である。

***参考までに添付**

健康管理・健診経年ファイル「まめなくんファイル」の作成



目 的

自分の健康管理や生活習慣を見直すきっかけに、経年的に自分の健診データや指導内容をファイリングすることを勧める。

様 式

A4版クリアファイルに健診データや各種情報を入れる。
(100円均一で市販されているクリアファイルをイメージ)

内 容

1. 情報提供（浜田圏域の健康課題、メタボリックシンドローム、歯周病、心の健康づくり、ストレスチェック表、相談窓口一覧）
2. 健診データを自分で確認する資料（国の健診・保健指導マニュアル暫定版や学習教材集に掲載されている資料を抜粋）
3. 各年の健診データや指導でもらったパンフレット等を一緒に入れる。

作成・周知方法

- ①ファイリングする内容を協議会で協議する。
- ②「まめなくんファイル」の見本を作成し、協議会構成団体へ配布し、関係する事業所に作成を勧める。また、モデルで優良事業所でも活用を依頼する。
- ③各事業所でクリアファイルを購入していただき、中味のファイル内容は事務局が印刷したものを配布するとともに、内容様式をホームページに掲載し、ダウンロードしていただく。
- ④必要に応じ内容等を見直していく。

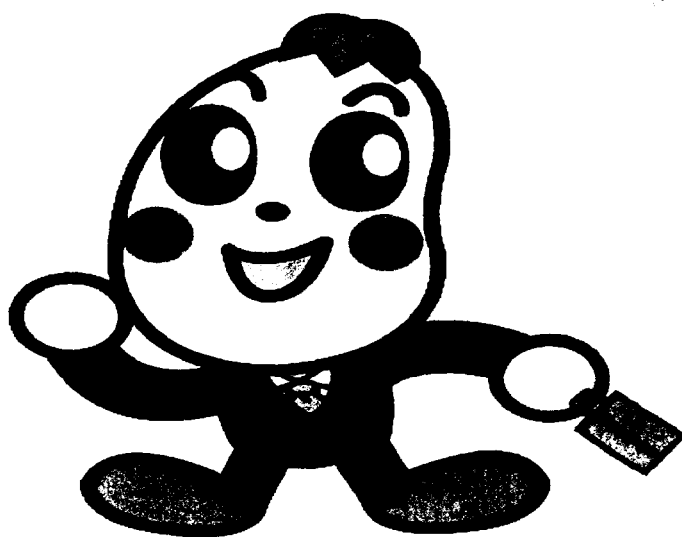
*参考までに添付

地域保健と産業保健の両方から健康課題の解決を目指そう！

〈健康づくり活動優良事業所表彰について〉

- ★浜田圏域健康長寿しまね推進会議の一環として、地域へ波及させる取組。
- ★「事業所の健康づくりのための情報マップ」に掲載している「健康管理ランク表」に基づき、表彰基準を作成。
- ★平成17年度までに、会長賞5事業所、入選13事業所、奨励賞10事業所、特別賞2事業所を表彰した。

健康づくり活動優良事業所



〈優良事業所の取組の例〉

- ★経年的に従業員1人ごとに健診データを管理し、データ比較している。
- ★自動販売機を使わず、事業所でお茶をつくって飲むようにしている。
- ★事業所内禁煙にした。
- ★従業員1人ずつ健康づくり目標を書いて、事業所の壁に掲示している。
- ★毎年、健康づくりに関する講演会を事業所内で開催している。